

表紙

令和5年度学校推薦型選抜Ⅰ

専門高校・農業関連学科推薦

小論文

農学部 森林科学科

令和4年11月23日（水）実施

10時00分～11時30分

開始前に以下の注意事項をよく読んでおくこと。

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入すること。
3. この問題冊子には、2つの設問がある。  
乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。  
所定の欄以外に記入したものは、無効である。

令和5年度宇都宮大学農学部 学校推薦型選抜Ⅰ試験問題

科目名：小論文

学科名：森林科学科

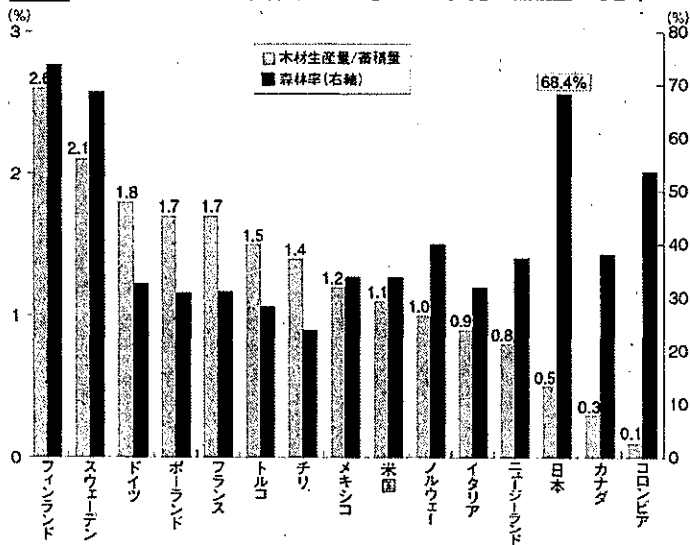
問題：資料1は諸外国の森林蓄積量\*に対する木材生産量の比率を示す図表である。この資料について以下の問いに答えよ。

\*森林蓄積量とは森林を構成する樹木の幹の体積の総計値であり、森林資源量の基準となるもので、通常m<sup>3</sup>を単位として用いる。

問1. 資料1の図表から読み取れる事項について分析し600字以内で説明せよ。

問2. 日本では令和2年度現在木材需要が0.59m<sup>3</sup>/人、木材自給率が41.8%である(数値は令和3年度版森林・林業白書より引用)。資料1の情報と合わせて日本における森林の課題について分析し、その課題の解決方法についてあなたの考えを600字以内で述べよ。

**15 諸外国の森林蓄積量に対する木材生産量の比率**



	OECD加盟国森林蓄積量上位15か国			日本
	木材生産量 (百万m <sup>3</sup> )	森林蓄積量 (百万m <sup>3</sup> )	木材生産量/蓄積量 (%)	木材生産量/蓄積量 (%)
2010	999	134,268	0.74	0.37
2017	1,128	138,314	0.82	0.55

注1：OECD加盟国(2022年2月時点)のうち、2017年における森林蓄積量上位15か国の比較(ポルトガル、オーストラリア、ベルギー、イスラエルについては森林蓄積量が報告されていないため除いている)。  
 2：木材生産量は「FAOSTAT」による2017年の丸太生産量の数値。森林蓄積量は「世界森林資源評価2020」による2017年の数値。森林率は「世界森林資源評価2020」を基に算出した、2017年の数値。

資料：国際連合食糧農業機関(FAO)「FAOSTAT」(2021年12月16日現在有効なもの)、FAO「世界森林資源評価2020」を基に林野庁企画課作成。

資料1 諸外国の森林蓄積量に対する木材生産量の比率(令和3年度版森林・林業白書・参考図表より引用)表中、木材生産量および森林蓄積量の単位は百万m<sup>3</sup>